

三井住友信託銀行との再生可能エネルギー事業における協業に関する協定締結について ～顧客および地域・社会のカーボンニュートラルの実現を加速～
--

株式会社ウエストホールディングス（代表取締役社長：江頭栄一郎、以下「ウエストグループ」）は、三井住友信託銀行株式会社（取締役社長：大山一也、以下「三井住友信託銀行」）と、再生可能エネルギー事業における協業に関する協定（以下「本協定」）を締結いたしました。

1 本件の背景・目的

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、各企業や各地域の脱炭素化に向けた取組みにおいては、脱炭素化の動きを成長の機会と捉え、自治体・金融機関・地域企業・地域住民などの地域のステークホルダーが主体となって、持続可能な地域社会の形成に向けて取組みが求められています。

三井住友信託銀行は、気候変動の原因となる化石燃料に頼らない再生可能エネルギーの拡大を支援しています。お客さまのトランジション戦略の実現に向けたソリューションの提供により、カーボンニュートラル達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援していくことで、お客さまの中長期的な企業価値向上に貢献することを引き続き目指していきます。

ウエストグループは、太陽光事業を主たる事業と位置づけ、大企業のみならず、サプライチェーンに関連する多くの企業に向けての自家消費型太陽光発電の建設、また、グリーン電力の開発として非FIT発電所の開発・建設を行っているほか、系統用蓄電所や太陽光併設型の蓄電所にも着手し、カーボンニュートラルに向けた取組みを進めています。

今般、業務提携を締結することにより、互いの強みを活かしあい、地域課題であるカーボンニュートラルの実現を目指していくこととしました。

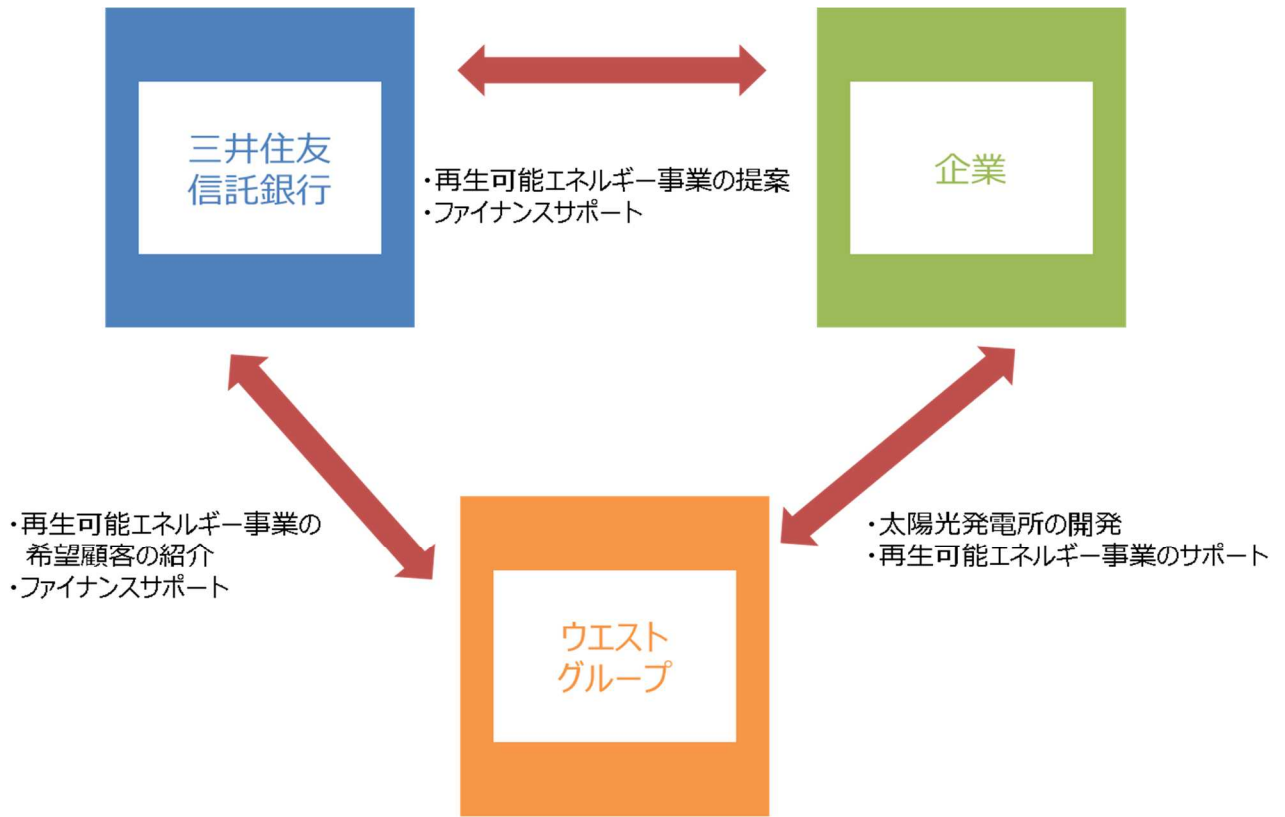
2 本協定について

ウエストグループは、再生可能エネルギーの利用を希望する三井住友信託銀行の顧客に対し、再生可能エネルギー事業のソリューション導入へ向け、太陽光発電所の開発、サポートの提供を行うこと、及びその資金調達について、三井住友信託銀行と連携していくことについて合意致しました。

ウエストグループは、「ウエストグループのカーボンニュートラルビジョン 2025」をスタートし、社会全体のCO₂排出量削減に取り組んでいます。ウエストグループが開発・建設・販売する太陽光発電所、ウエストグループが保有する太陽光発電所、メガソーラー再生事業、ASEAN諸国での太陽光発電所の開発・建設などを中心として、国内外で200万kWの再エネ電源の普及に貢献します。

両社はこれまでの関係をより一層強化し、お客さまの課題を解決するとともに、社会課題であるカーボンニュートラル社会の実現に取り組んでまいります。

【三井住友信託銀行とウエストグループの連携のイメージ図】



■報道関係の方のお問い合わせ先

株式会社ウエストホールディングス 広島本社 TEL : 082-503-3900